

# 交流採用経験者への アンケートの結果概要

調査対象: 国と民間企業との間の人事交流に関する法律(平成11年法律第224号)に基づく官民人事交流により、令和3年11月1日以降に国の機関に在籍していた期間がある交流採用者のうち、連絡することができた1080名

有効回答数: 552名(有効回答率51.1%)

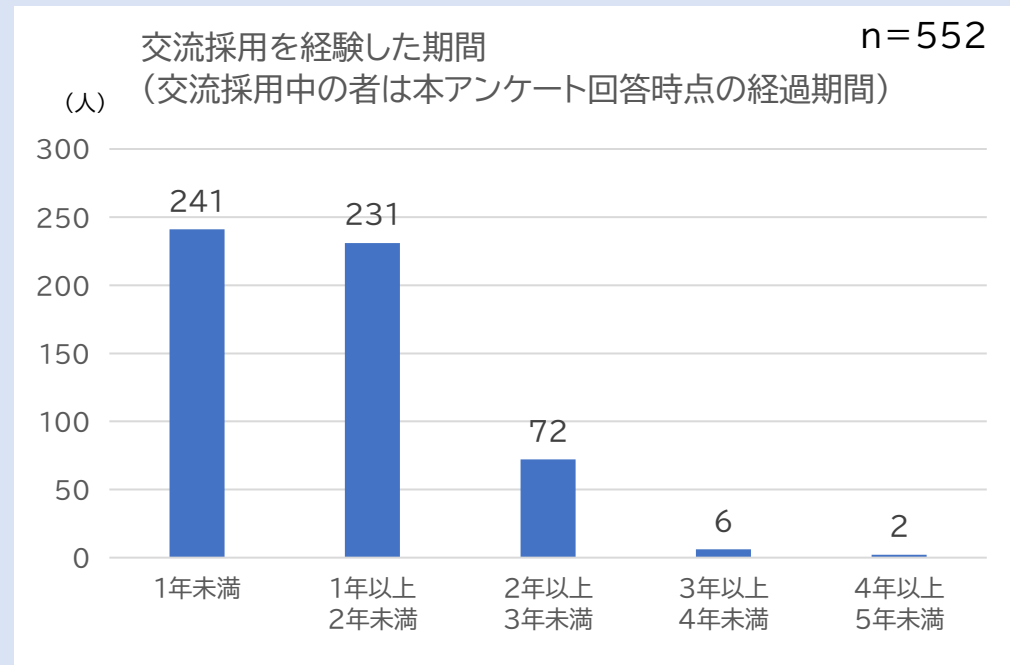
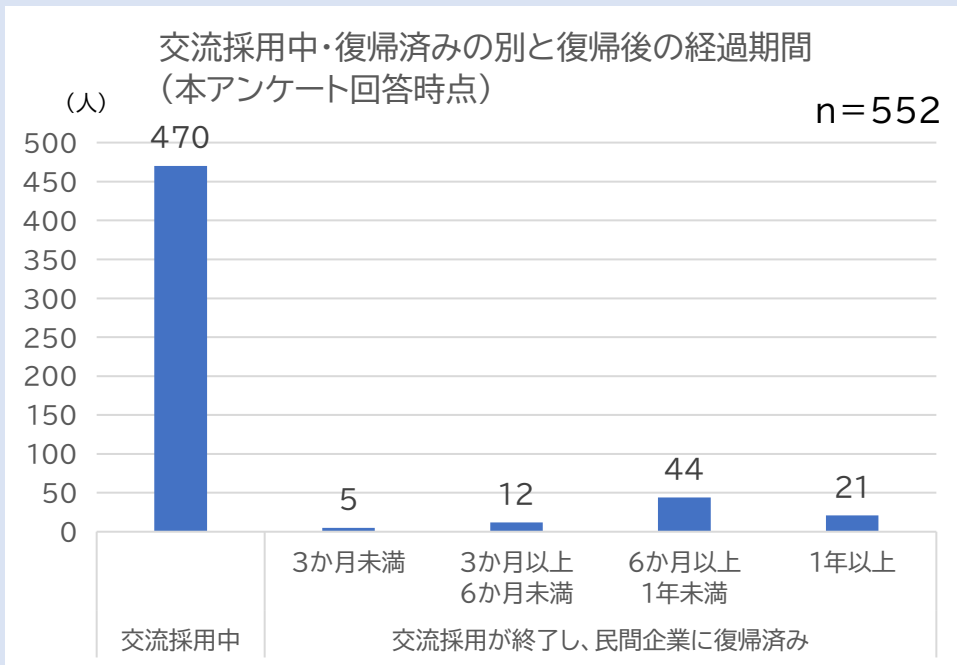
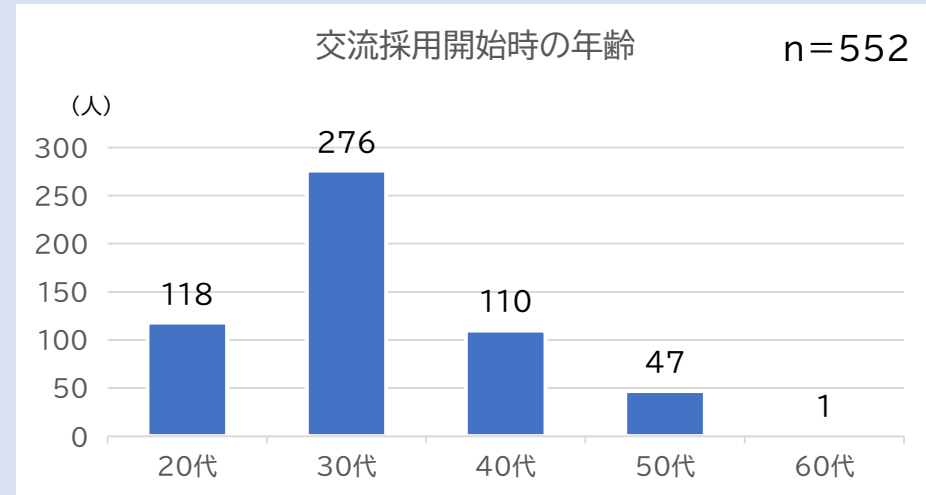
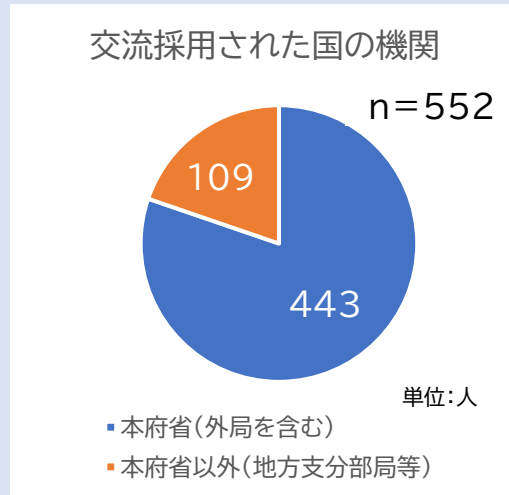
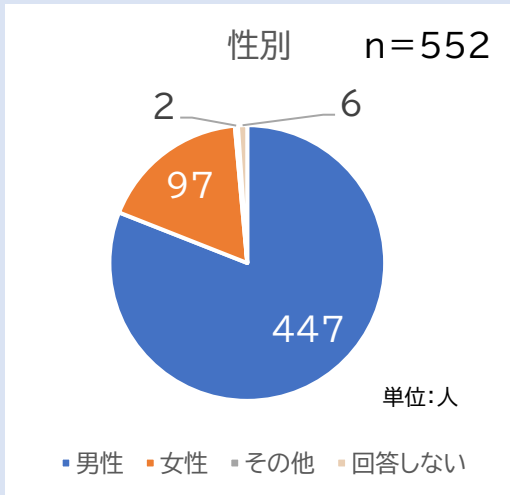
アンケートの実施期間: 令和5年11月8日～令和5年12月13日

アンケートの実施方法: 令和5年11月8日時点の調査対象者が勤務している組織(各府省等又は民間企業の人事担当部署)を通じ、  
回答リンクURLを送付し、オンラインにより回答

※ 各グラフ中の「n」は、それぞれの問に対する有効回答数

- 1 回答者の概要
- 2-1 総合満足度
- 2-2 総合満足度(男女別・採用部局別の各集計)
- 2-3 総合満足度(年齢別の集計)
- 3 成長実感
- 4-1 業務の量や内容についての満足度
- 4-2 業務満足度(採用部局別・年齢別の各集計)
- 4-3 業務内容についての受け止め
- 4-4 業務に関する不満要因
- 5-1 待遇満足度
- 5-2 待遇満足度(採用部局別・年齢別の各集計)
- 5-3 待遇等に関する個別項目の満足度
- 5-4 待遇等に関する個別項目(オフィス環境)
- 5-5 待遇等に関する個別項目(給与額)
- 6-1 府省からの支援(満足度・改善すべき点)
- 6-2 出身企業からの支援(満足度)
- 6-3 出身企業からの支援(改善すべき点)
- 7 復帰後の変化

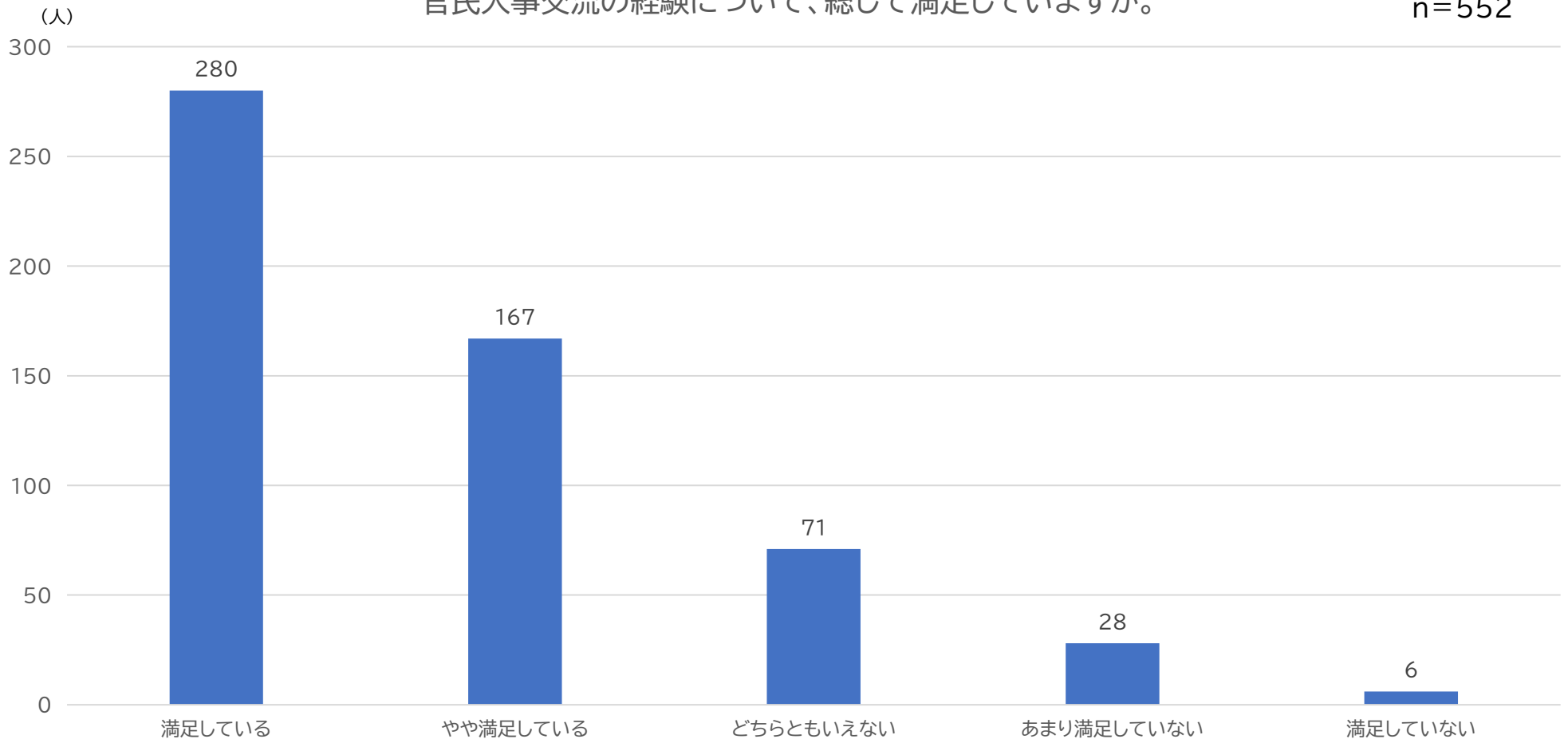
# 1 回答者の概要



約8割が、官民人事交流の経験について、総じて「満足している」又は「やや満足している」と肯定的な回答

官民人事交流の経験について、総じて満足していますか。

n=552

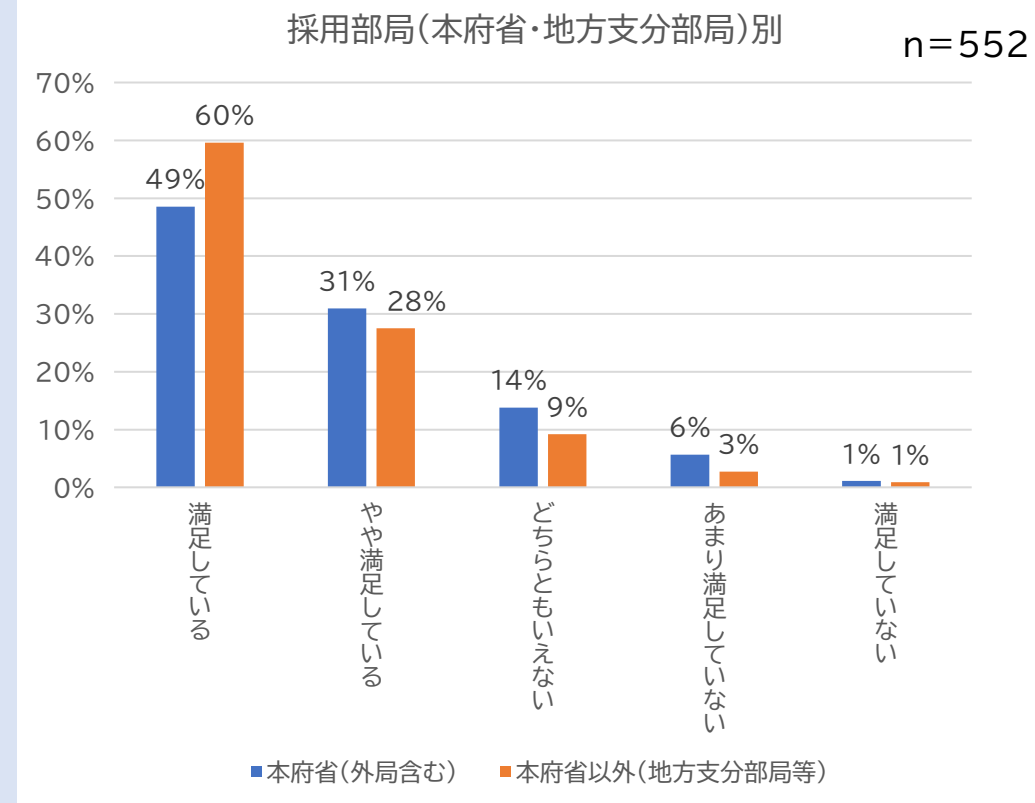
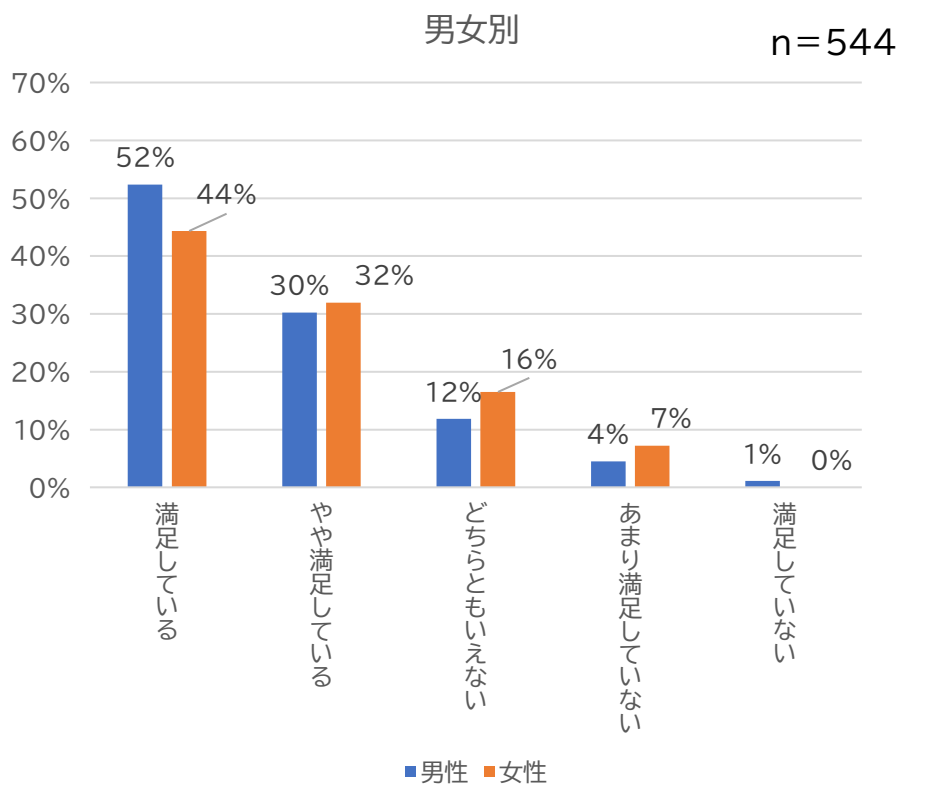


# 2-2 総合満足度(男女別・採用部局別の各集計)

男女別に集計すると、男女いずれも約8割が官民人事交流の経験について、総じて「満足している」又は「やや満足している」と肯定的な回答

採用部局別に集計すると、本府省等に交流採用された者の約8割、地方支分部局等に採用された者の約9割が官民人事交流の経験について、総じて「満足している」又は「やや満足している」と肯定的な回答

官民人事交流の経験について、総じて満足していますか。



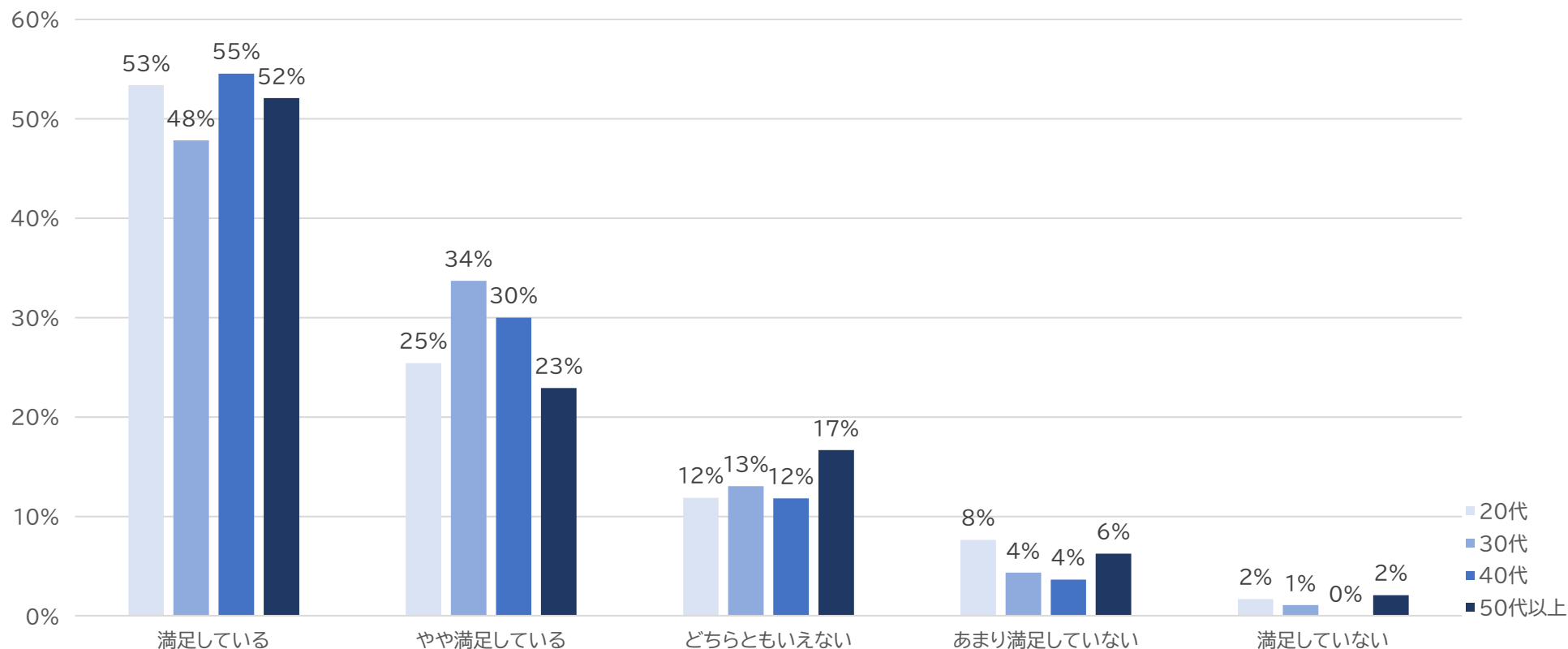
## 2-3 総合満足度(年齢別の集計)

年齢別に集計すると、いずれの年代でも約8割が、官民人事交流の経験について、総じて「満足している」又は「やや満足している」と肯定的な回答

官民人事交流の経験について、総じて満足していますか。

交流採用開始時の年齢別

n=552

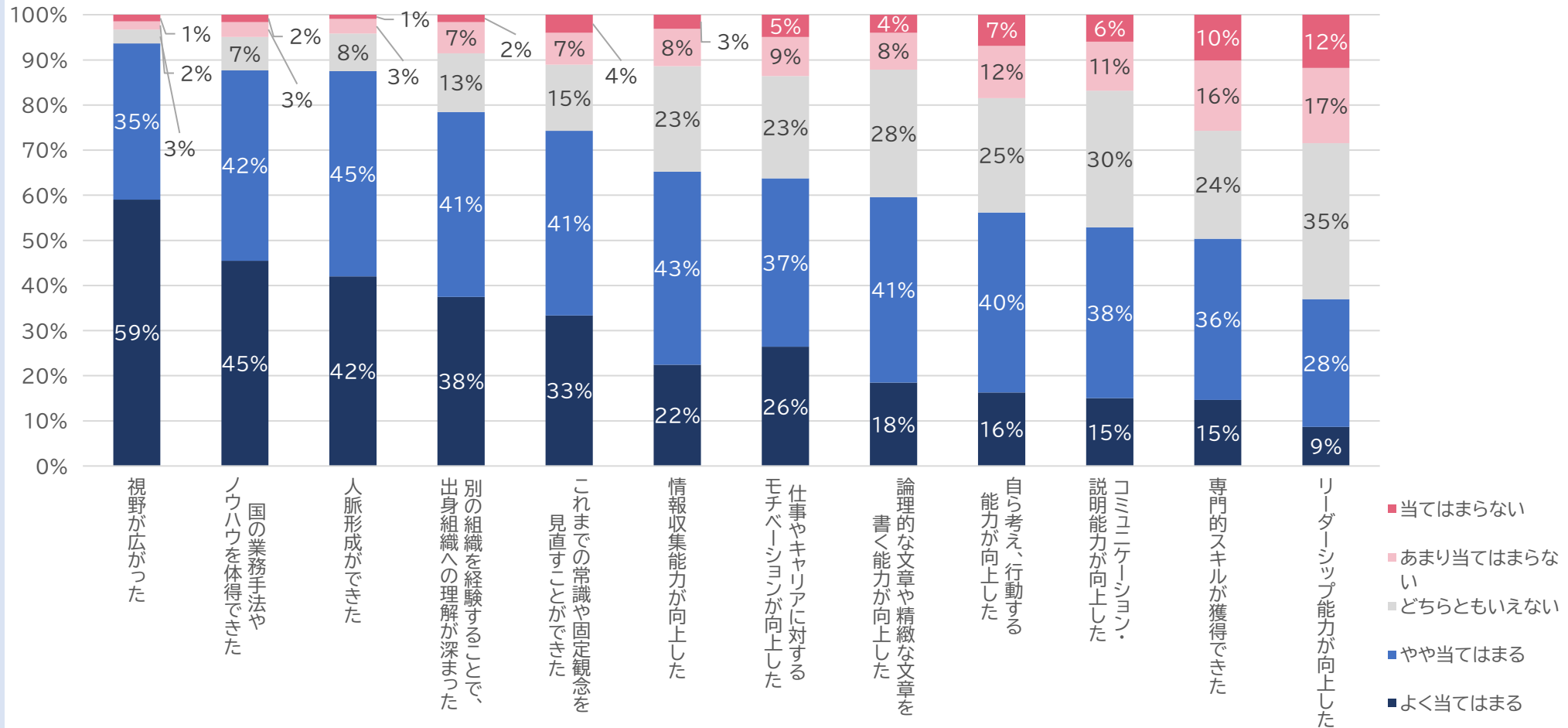


# 3 成長実感

成長実感について、多くの項目で、肯定的な回答が得られた。

官民人事交流の経験を通じて、あなた自身について、感じていることをお伺いします。以下の各項目について、一番近いものを選択してください。

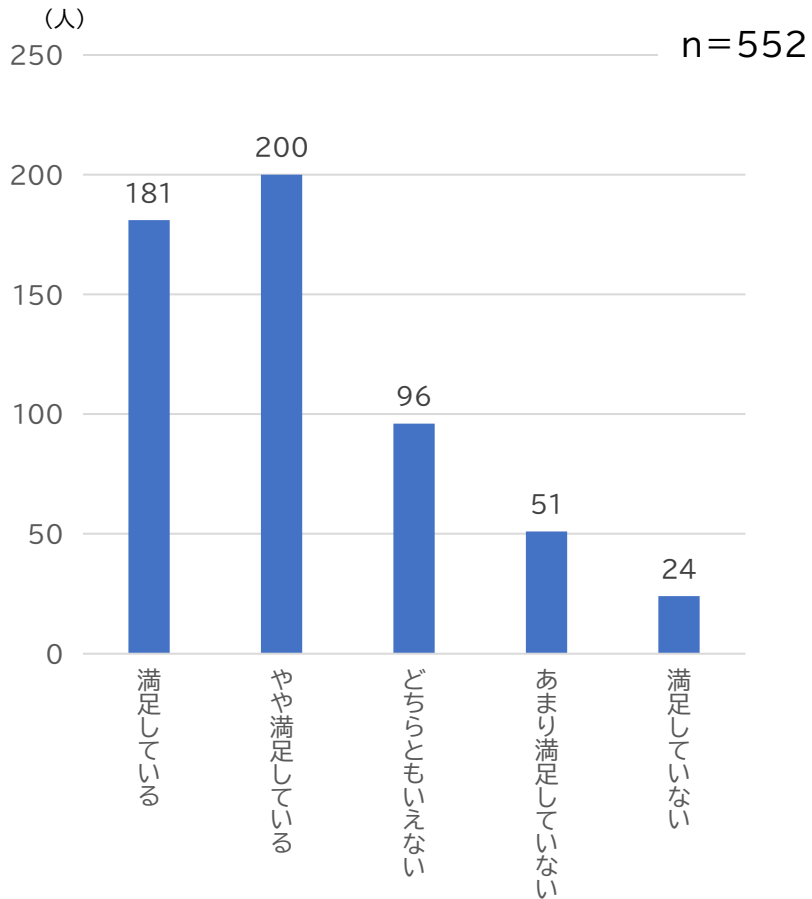
n=552



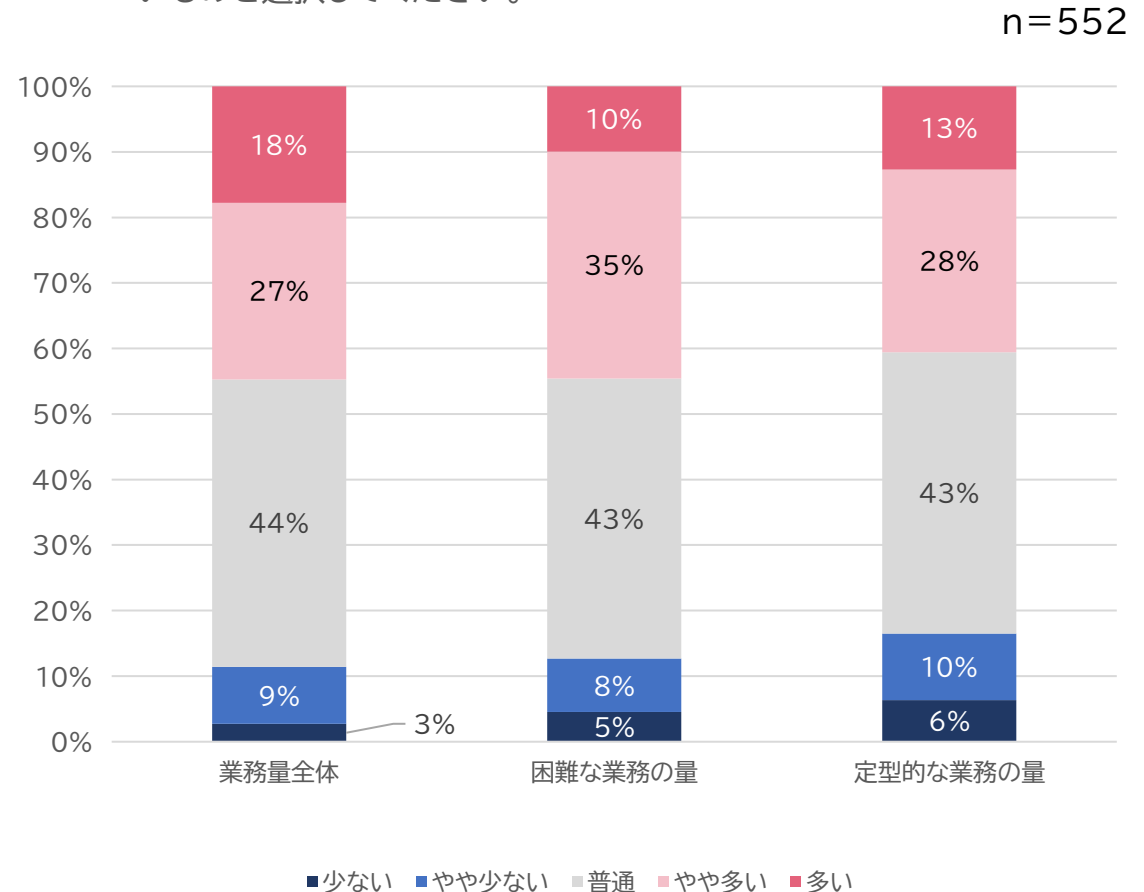
# 4-1 業務の量や内容についての満足度

交流採用中の業務の量や内容については、約7割が「満足している」又は「やや満足している」と肯定的な回答

官民人事交流中の府省における自身の担当業務の量や内容について、満足していますか。



官民人事交流中の府省における自身の担当業務の量について、感じたことをお伺いいたします。以下の各項目について、一番近いものを選択してください。



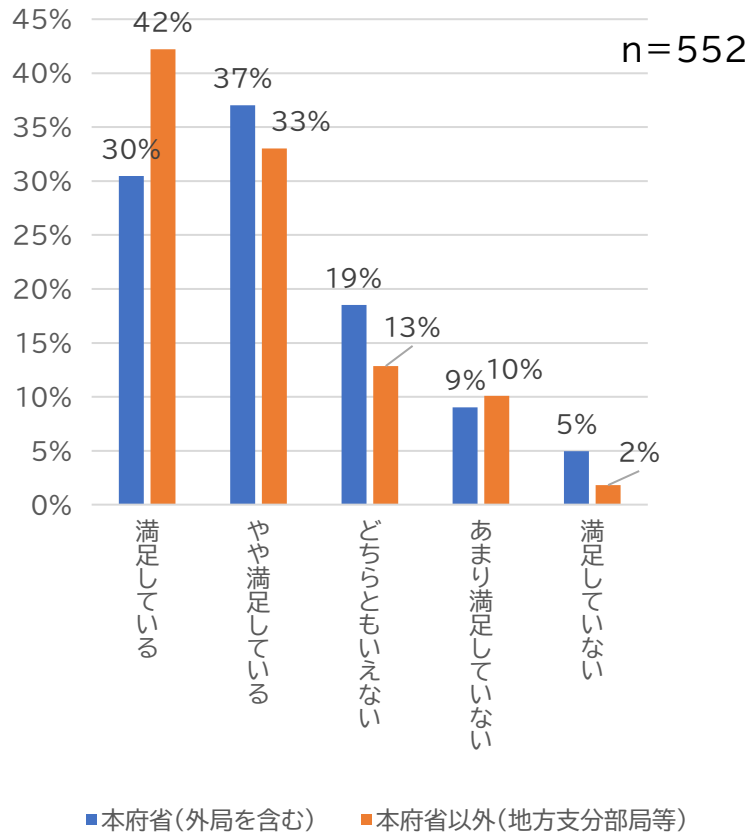


# 4-2 業務満足度(採用部局別・年齢別の各集計)

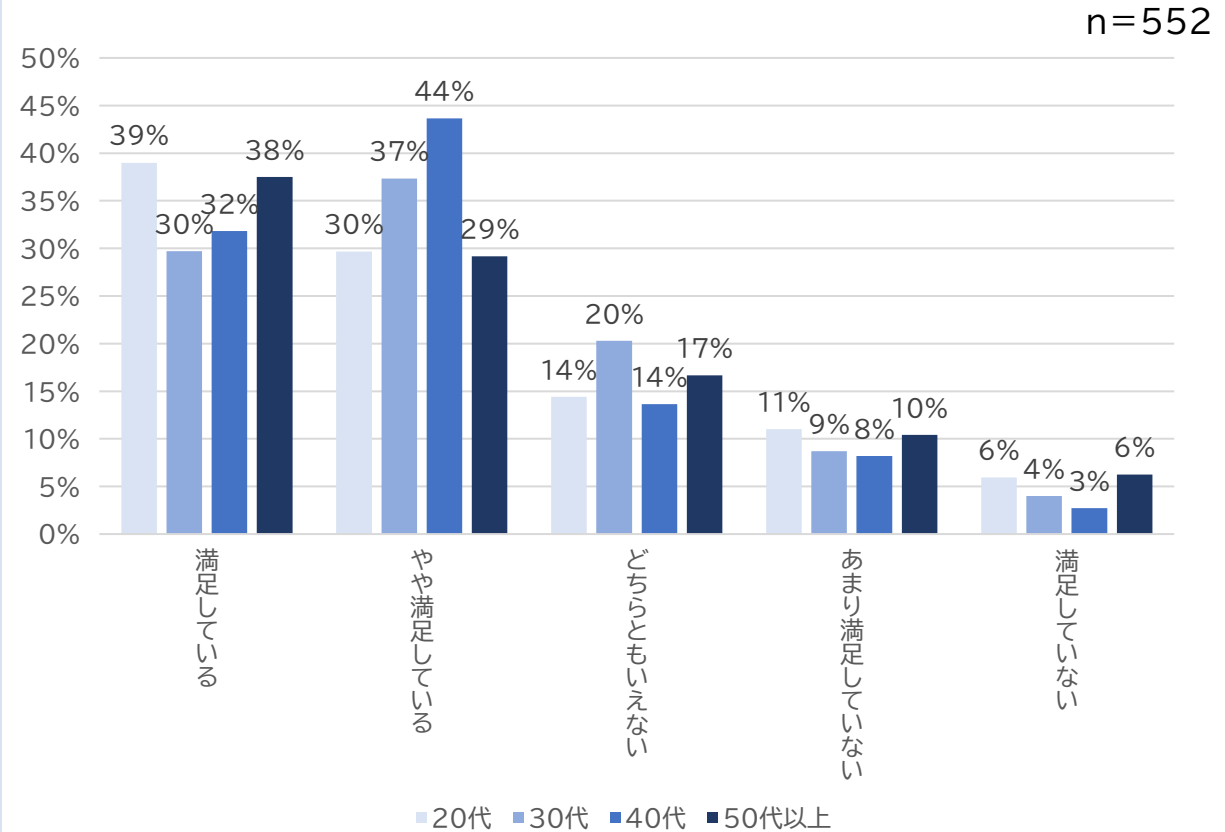
採用部局別に集計すると、「満足している」又は「やや満足している」と肯定的な回答をした者の割合は、本府省等(約7割)よりも地方支分部局等(約8割)に採用された者の方が高い

官民人事交流中の府省における自身の担当業務の量や内容について、満足していますか。

### 採用部局(本府省・地方支分部局)別



### 交流採用開始時の年齢別

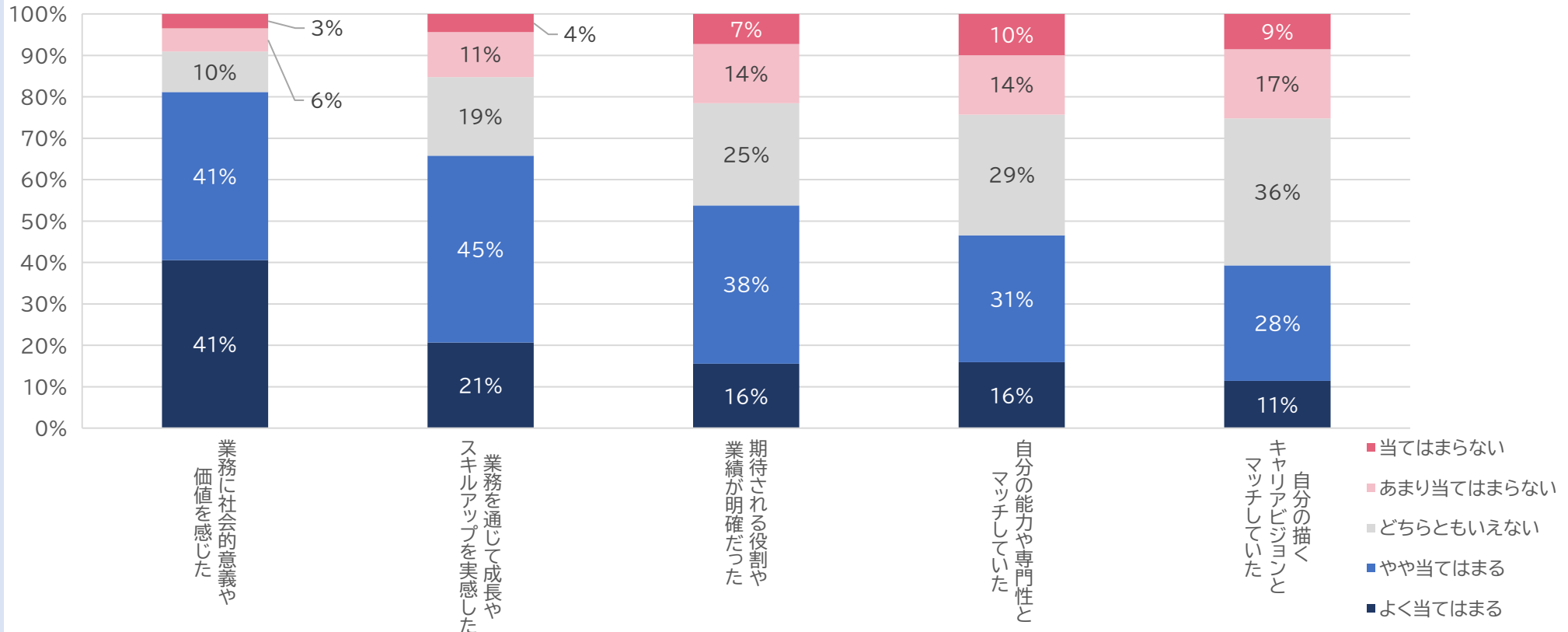


# 4-3 業務内容についての受け止め

「業務に社会的意義や価値を感じた」の項目については約8割が、「業務を通じて成長やスキルアップを実感した」の項目については約7割が、肯定的な回答  
 一方で、「自分の描くキャリアビジョンとマッチしていた」の項目については約3割が、「自分の能力や専門性とマッチしていた」の項目については約2割が、否定的な回答

官民人事交流中の府省における自身の担当業務の内容について、感じたことをお伺いいたします。以下の各項目について、一番近いものを選択してください。

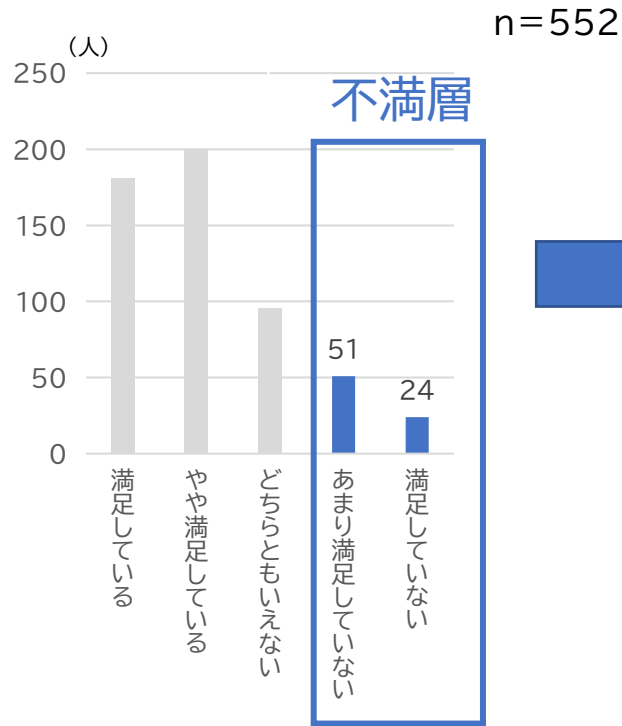
n=552



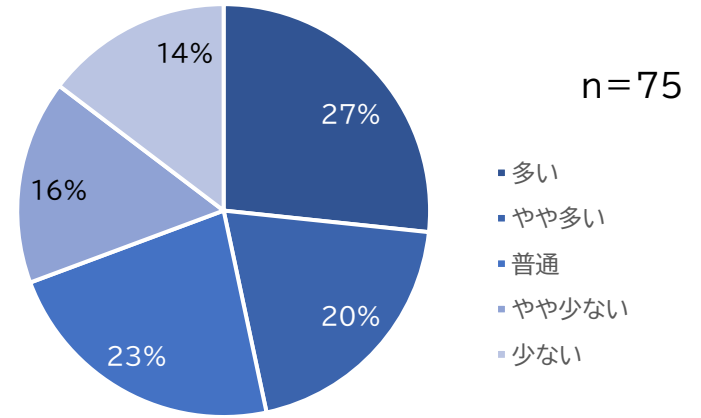
# 4-4 業務に関する不満要因

業務の量や内容に不満を感じた者について、業務量の多寡との間には明確な関係が見られない。一方、業務の量や内容に不満を感じた者の7割前後が、(業務が)「自分の描くキャリアビジョンとマッチしていた」「自分の能力や専門性とマッチしていた」「期待される役割や業績が明確だった」の項目について否定的な回答

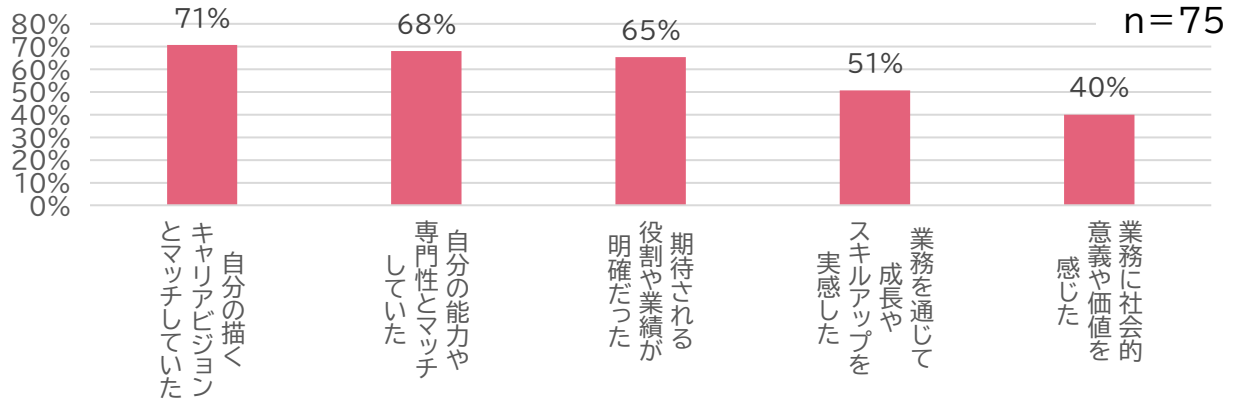
4-1左グラフ再掲(官民人事交流中の府省における自身の担当業務の量や内容について、満足していますか。)



不満層の交流採用中の業務量全体に対する感想(4-1 右グラフ中の「業務量全体」)の集計



不満層の交流採用中の業務内容についての受け止め(4-3 グラフ)の「当てはまらない」又は「あまり当てはまらない」の合計割合

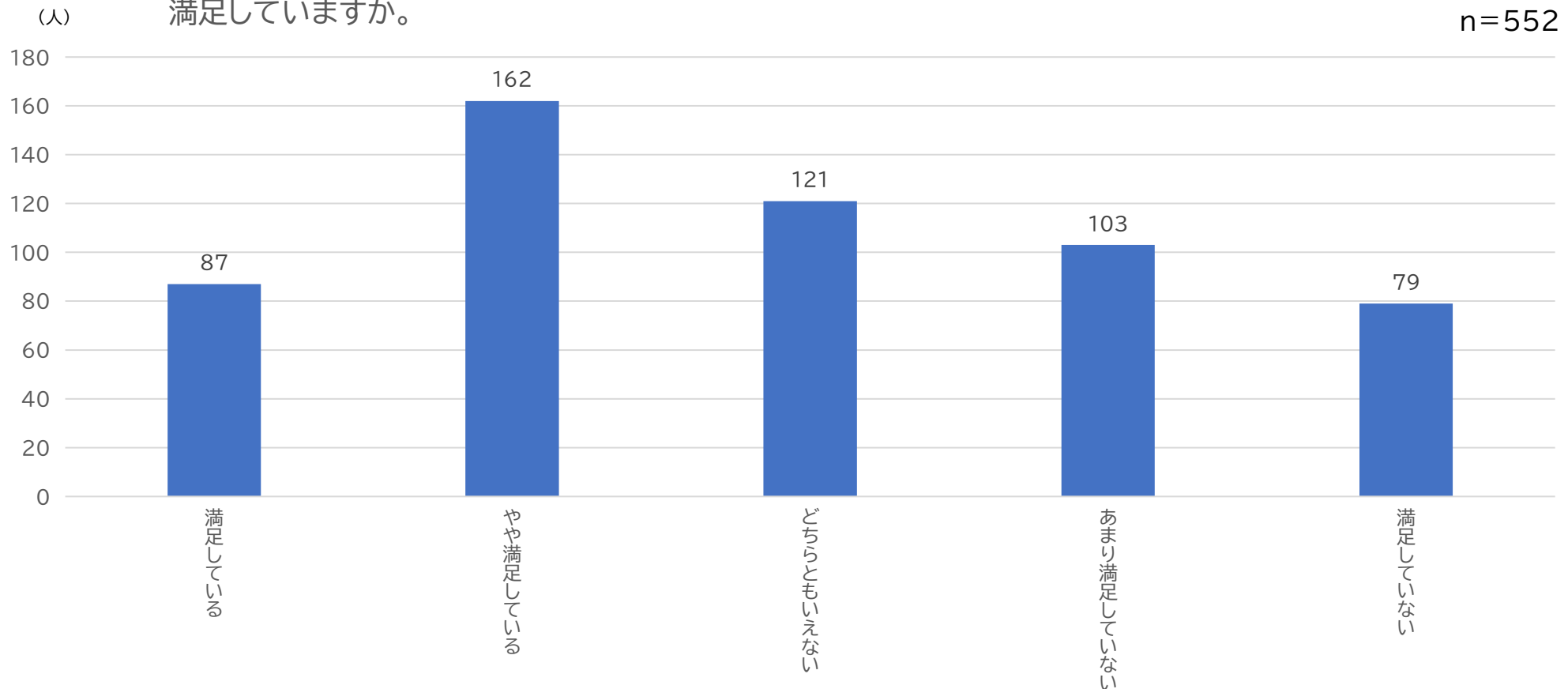


# 5-1 待遇満足度

交流採用中の待遇について、約5割が、「満足している」又は「やや満足している」と肯定的な回答一方で、約3割が、「満足していない」又は「あまり満足していない」と否定的な回答

官民人事交流中の待遇(給与や労働時間など)や勤務環境(オフィス環境など)について、どの程度満足していますか。

n=552



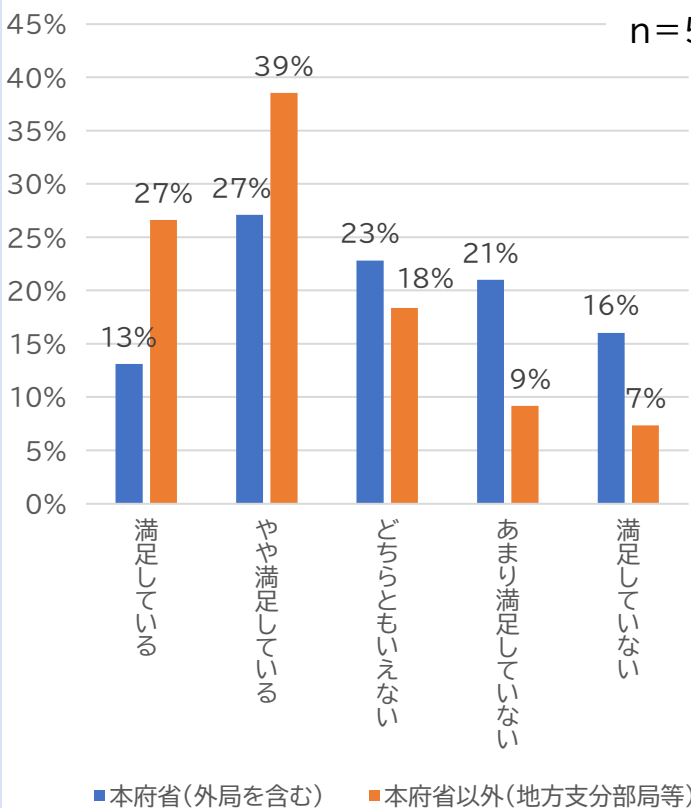
# 5-2 待遇満足度(採用部局別・年齢別の各集計)

採用部局別に集計すると、「満足している」又は「やや満足している」と回答した者の割合は、本府省等(約4割)よりも地方支分部局等(約7割)に採用された者の方が高い  
 年代別に集計すると、20代は「あまり満足していない」と回答した割合が高い(約3割)

官民人事交流中の待遇(給与や労働時間など)や勤務環境(オフィス環境など)について、どの程度満足していますか。

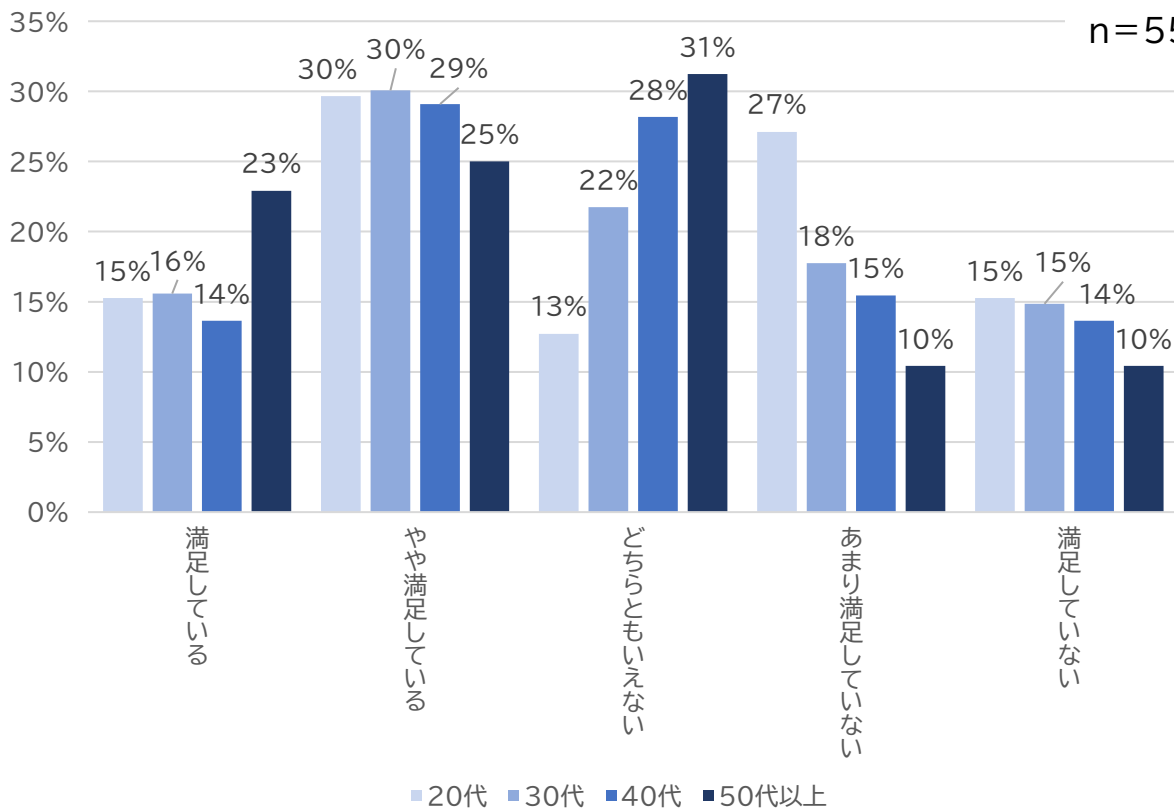
採用部局(本府省・地方支分部局)別

n=552



交流採用開始時の年齢別

n=552

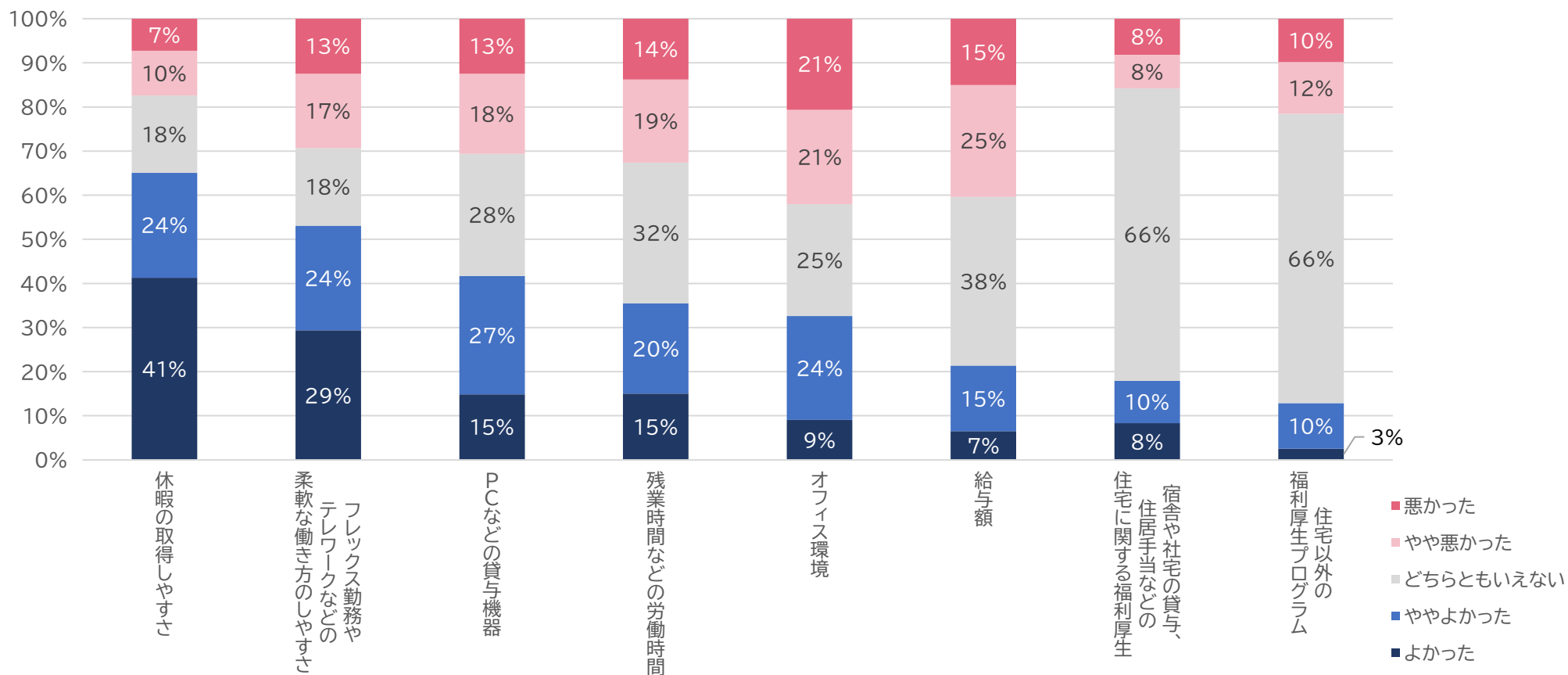


# 5-3 待遇等に関する個別項目の満足度

肯定的な回答割合が最も高かった項目は、「休暇の取得しやすさ」(約7割)  
 否定的な回答割合が高かった項目は、「オフィス環境」「給与額」(いずれも約4割)など

官民人事交流中の待遇や勤務環境について、感じていることをお伺いいたします。以下の各項目について、一番近いものを選択してください。

n=552



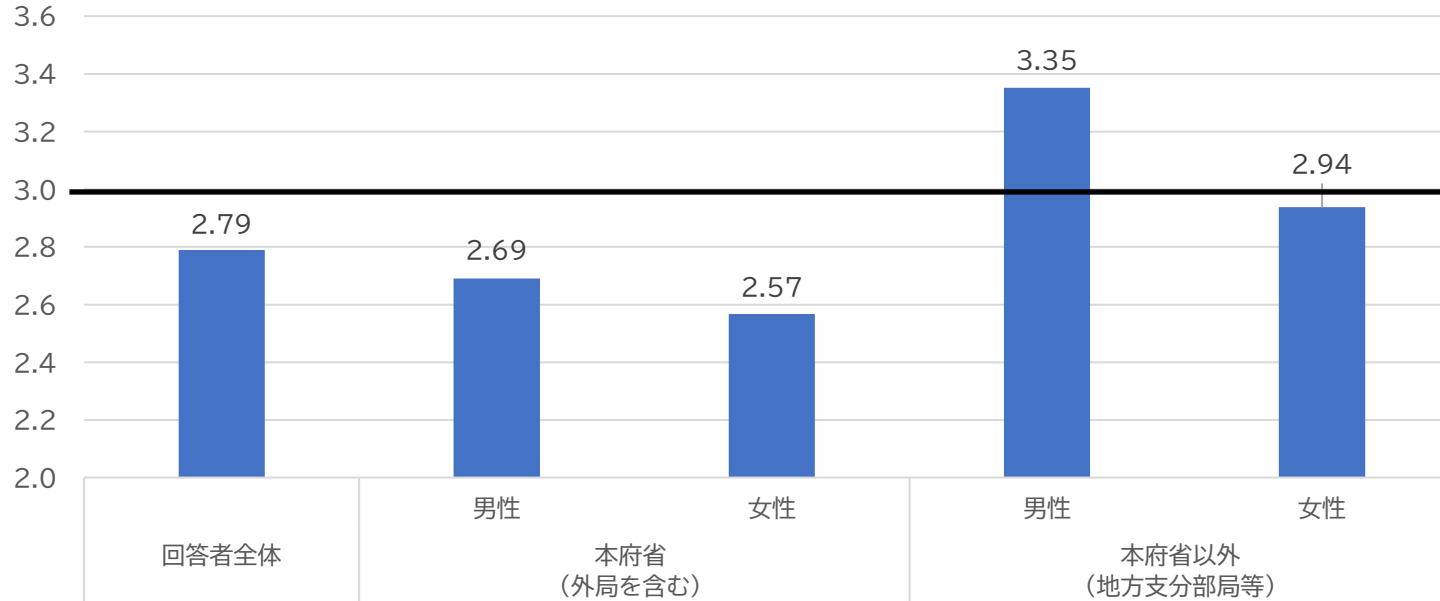
# 5-4 待遇等に関する個別項目(オフィス環境)

地方支分部局よりも本府省、男性よりも女性の方が、オフィス環境に対する肯定の度合いが低い。

肯定的な意見  
の強さ(pt)

オフィス環境に対する肯定の度合い

n=552



5-3グラフ中の「オフィス環境」の回答について、以下のとおり点数化し、平均値を算出した。  
 よかった 5pt  
 ややよかった 4pt  
 どちらともいえない 3pt  
 やや悪かった 2pt  
 悪かった 1pt

## オフィス環境に関する自由記述意見の概要の一部

- ・執務環境、空調が劣悪。夏は30度近く集中力も体力も削られる。残業しているのに空調は切られる。(本府省等・男性)
- ・冷暖房は柔軟に操作できるようにしないと、夏は特に熱中症になる人が出てくると思う。(本府省等・男性)
- ・空調が効かず夏は暑く冬は寒い。11月現在、室内でダウンを着ている人もたくさんいる。(本府省等・女性)
- ・執務環境が派遣元と比べて劣悪すぎて驚いた。(本府省等・男性)
- ・労働環境(オフィス内の設備、清掃、空調、照明、会議室不足)レベルが、一般企業よりかなり低い。(本府省等・女性)
- ・民間と比べ、明らかにオフィス環境が悪く、優秀な人材が集まる環境ではないと感じるため、環境改善は喫緊の課題(本府省等・男性)

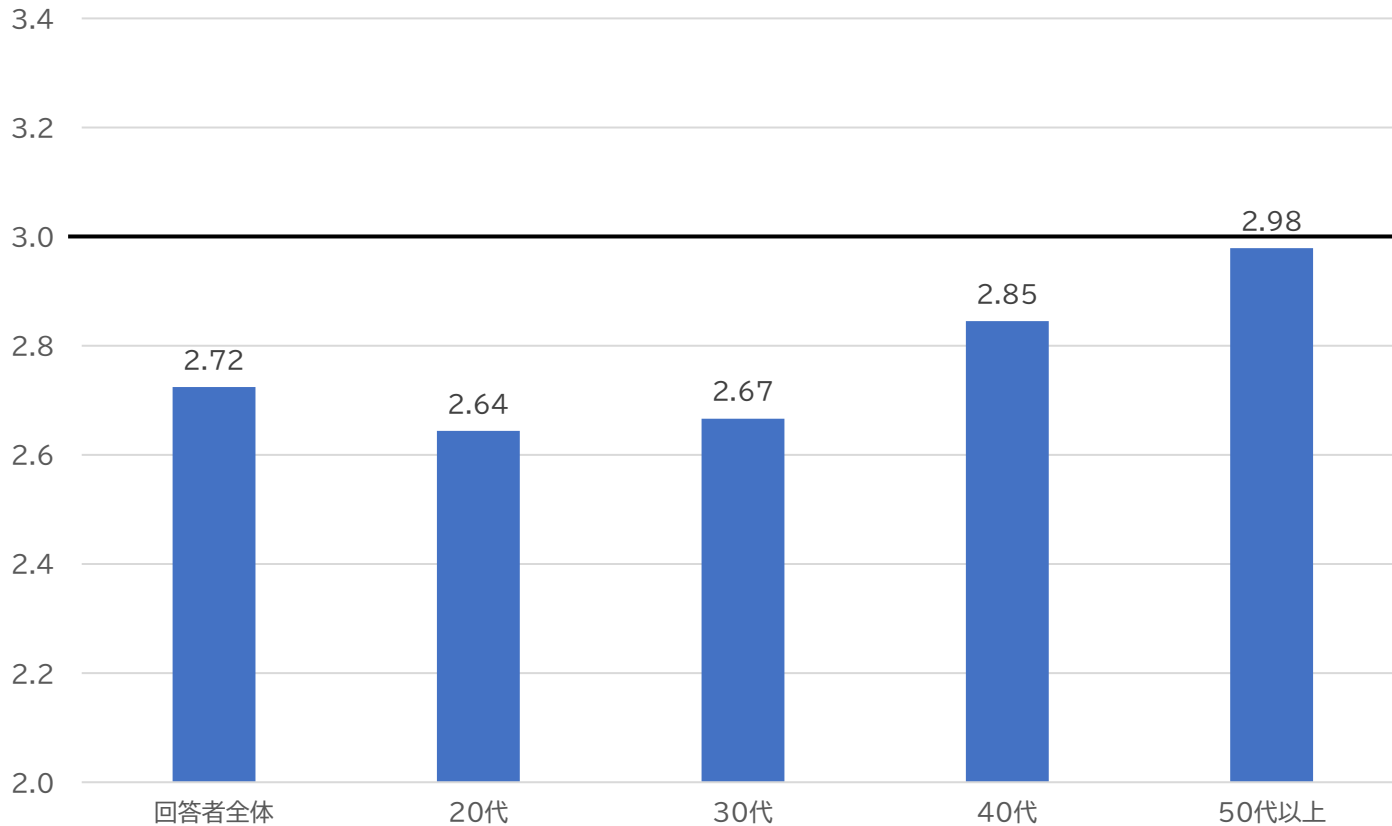
# 5-5 待遇等に関する個別項目(給与額)

20代が最も給与額に対する肯定の度合いが低い。

肯定的な意見  
の強さ(pt)

給与額に対する肯定の度合い

n=552



5-3グラフ中の「給与額」の回答について、以下のとおり点数化し、平均値を算出した。  
 よかった 5pt  
 ややよかった 4pt  
 どちらともいえない 3pt  
 やや悪かった 2pt  
 悪かった 1pt

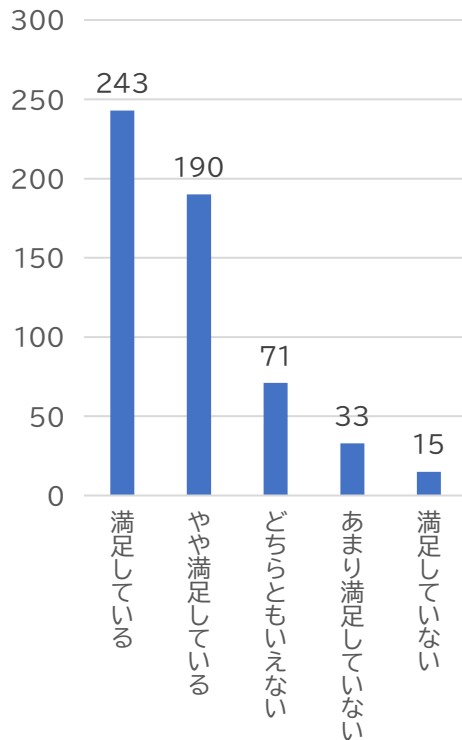


# 6-1 府省からの支援(満足度・改善すべき点)

約8割が、交流先府省からの支援について、「満足している」又は「やや満足している」と肯定的な回答  
 交流先府省がより力を入れるべき支援については、「府省特有の文化やルールに関する解説の充実」とする回答が約6割

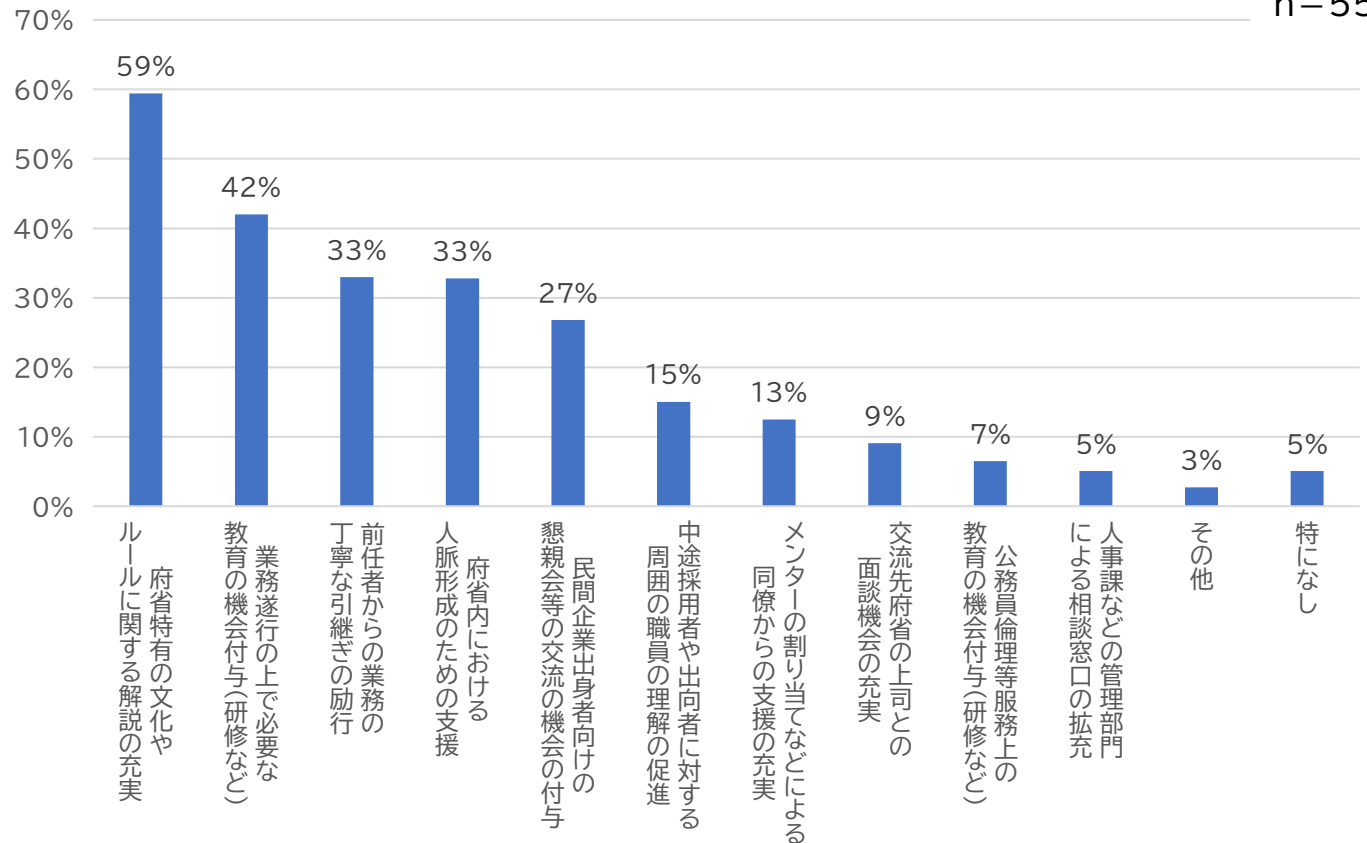
官民人事交流期間中における交流先府省の組織、上司及び同僚からの支援について、どの程度満足していますか。

(人) n=552



官民人事交流期間中における交流先府省の組織、上司及び同僚からの支援について、どのような取り組みや改善があれば、より満足度が向上しますか。(上位3つまで回答可)

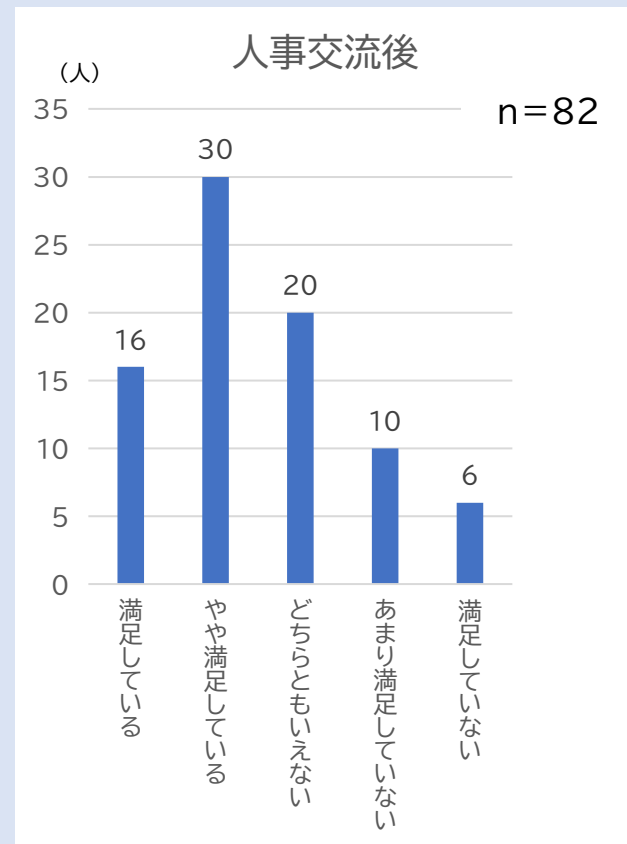
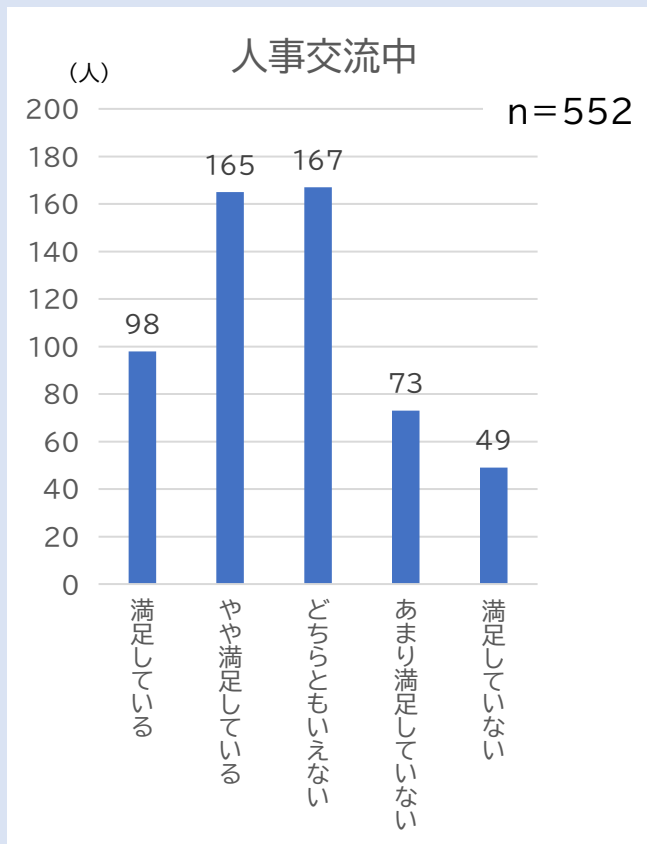
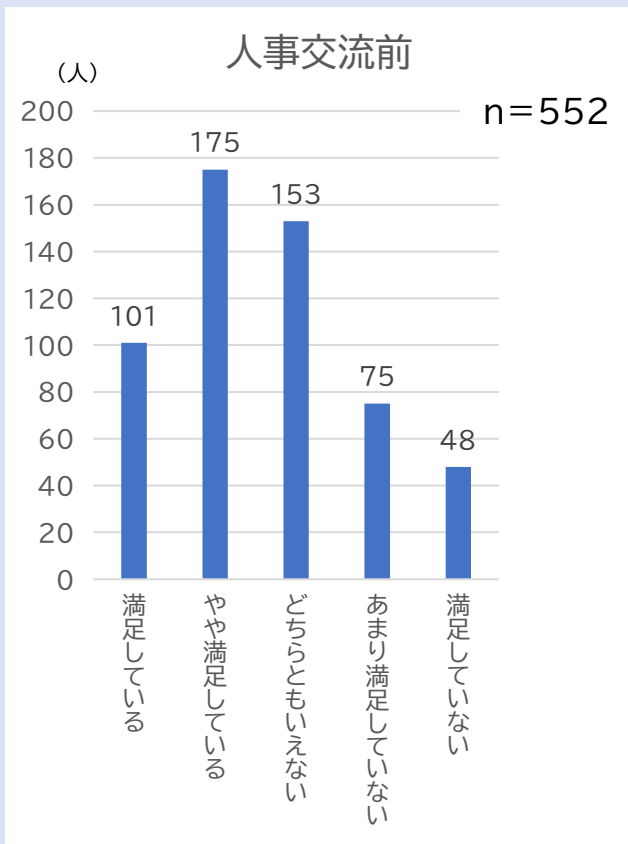
n=552



# 6-2 出身企業からの支援(満足度)

官民人事交流期間中の出身企業からの支援に対し、「満足している」又は「やや満足している」と回答した割合は、人事交流前及び人事交流中の支援についてそれぞれ約5割、人事交流後の支援について約6割

官民人事交流期間中やその前後の各時期におけるご出身企業からの支援について、どの程度満足していますか。

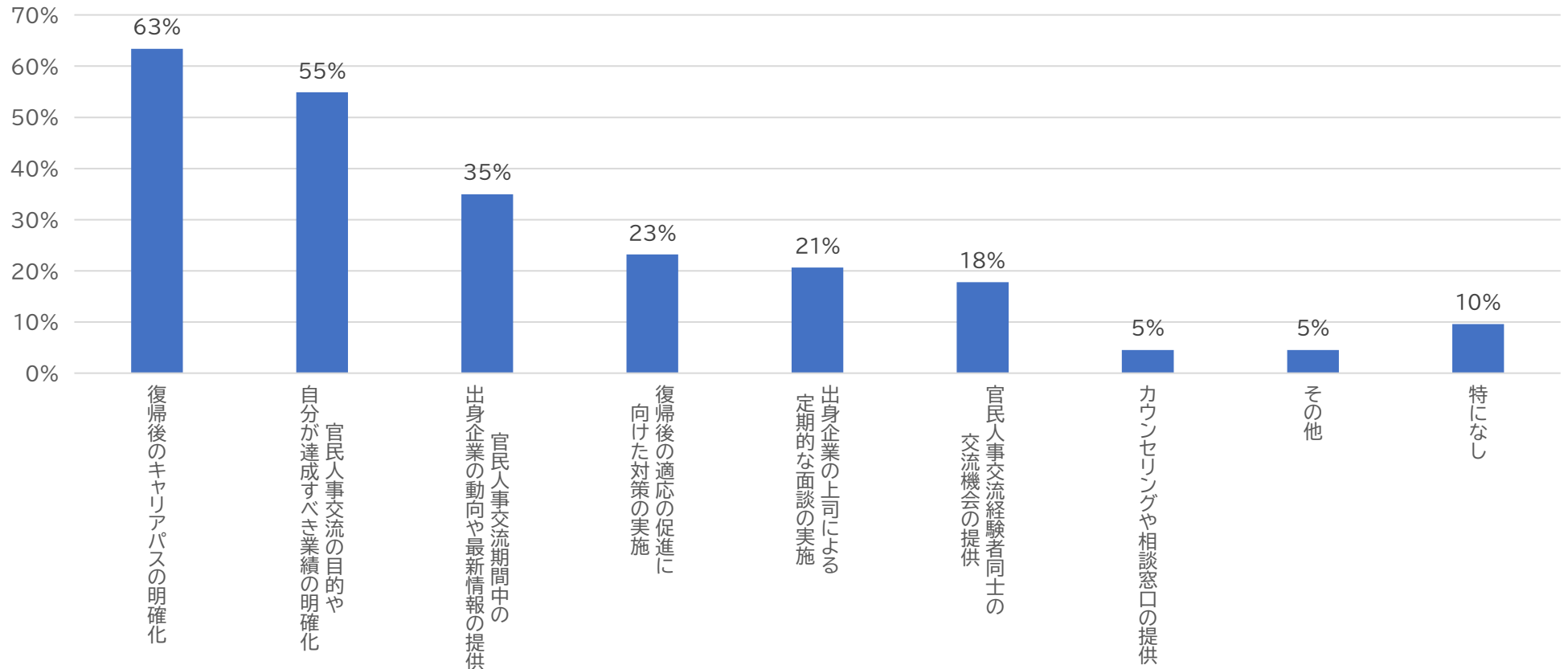


# 6-3 出身企業からの支援(改善すべき点)

出身企業がより力を入れるべき支援について、「復帰後のキャリアパスの明確化」「官民人事交流の目的や自分が達成すべき業績の明確化」とする回答がそれぞれ約6割

官民人事交流期間中やその前後におけるご出身企業からの支援について、どのような取り組みや改善があれば、より満足度が向上しますか。(上位3つまで回答可)

n=552



# 7 復帰後の変化

企業への復帰後の意識変化や行動変容については、いずれの項目も6割以上が肯定的な回答

官民人事交流からご出身組織に復帰された後の、あなた自身について、感じたことや行動をお伺いします。以下の各項目について、一番近いものを選択してください。

n=82

